

11 林道 下呂～萩原線の安全な交通の確保 [林道・作業道の整備]

〈事業の経緯〉

広域基幹林道 下呂～萩原線は、中津川市加子母と下呂市の境にある国道 257 号線の舞台峠を起点として、下呂市萩原町桜洞地区に至る、幅員 5.0m、総延長 40,816m の林道であり、当該林道と既設林道等が接続し骨格となる林内路網が形成され、森林整備や登山道へのアクセス道として利用されるとともに、災害時の迂回路としての機能も有している。全線が開通したことにより、林業関係者の他、登山客等の一般の利用者の通行も増加することより、安全な道路管理が求められる。また、総延長が約 41km と長いため、安全な交通を確保するための状況の把握や維持管理に多くの時間と労力が必要となる。

〈事業の目的・効果〉

森林整備の推進はもとより、森林の持つ多面的機能が十分に発揮されるよう、林道の状況を定期的に把握、管理することで、利用者の交通の安全を確保する。

■ 事業内容

《点検、落石や倒木等の除去等による安全確保》

- ・ 冬季期間明けの凍み崩れによる崩土、落石等を除去。
 - 年度当初の 4 月に人力で対処可能な落石除去、倒木処理等を実施。
- ・ 定期的なパトロールの実施。
 - 5 月から 12 月まで、月 1 回のパトロールを実施し安全を確保。
(必要に応じて沿道の除草等を実施)
- ・ 台風、豪雨等の後の緊急時のパトロール。(年 5 回を想定)

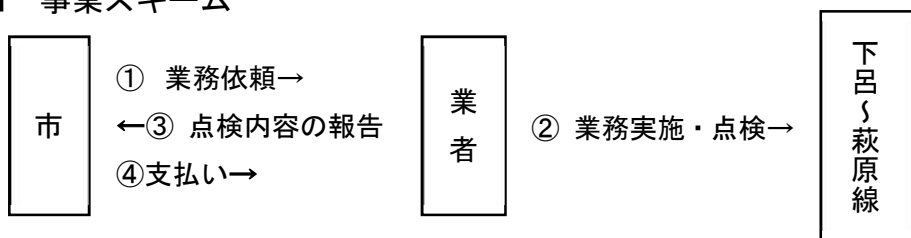
■ 事業費

委託料 1,045 千円 (内譲与税 1,000 千円)

■ 下呂市森林づくり基本計画

IV 6. 林道・森林作業道について

■ 事業スキーム



■ 実施イメージ



崩落状況



御前山(萩原)



下呂御前山(下呂)

白草山

